

⑪ 八西地区 【水土里ネット八郎潟西部干拓】

農業水利施設見学会

国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として、弘戸小学校5年生を対象に施設見学会を実施した。

移動の途中で、農道にバスを止め、当土地改良区は干拓によって造成された田を管理していること、周辺から流れてくる生活排水や雨水の終末処理をしているため、排水機場のポンプで八郎潟調整池に排水していることなどを説明した。

次に、揚水機場、排水機場を見学し、実際に調整池に排水させる様子を見せながら、水が勢いよく流れることを説明し、危険な排水路や調整池付近では遊ばないよう注意を促した。

子ども達は建物があることは知っていても、どういった働きをしているのか知らなかったため、改めて各施設の役割について理解したようだった。

その後、南部排水機場に移動し、八郎潟干拓のことや排水機場のしくみをビデオで見てから、集中制御方式の操作室や巨大なポンプを見学した。最後に排水の様子を見た子ども達は、管から勢いよく出る水を見て驚きと喜びの声を上げていた。

今後も農業水利施設の重要性と土地改良区が行っている維持管理について理解してもらうためにこの活動を継続していきたいと思う。



活動体制	
実施主体	水土里ネット八郎潟西部干拓（八郎潟西部干拓地区土地改良区）
後援・連携	弘戸小学校、秋田地域振興局、八郎潟基幹施設管理事務所
実施期間	6月6日
参加者	弘戸小学校（生徒17名、教職員2名）八郎潟基幹施設管理事務所（2名）土地改良区役職員（8名）
報道関連	
活動実施年数	5年目（H22年～）
連絡先	〒010-0431 男鹿市弘戸字浜1-6 八郎潟西部干拓地区土地改良区 TEL.0185-46-2174
その他	さなえ賞（H24）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット八郎潟西部干拓（船木 友見）					
○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設と土地改良区の役割について理解や関心を持ってもらう			
	達成率	60%			
○活動に対する評価	小学校からは好評を得ており、今後も出来る限り継続していきたい。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	運動は定着してきているが実施内容の工夫が必要である。
①役職員・組合員の参加	C	役職員一体で取り組んでいるが組合員には浸透していない。	③運動の計画性	B	水利施設を見学し、役割について理解してもらえるよう説明している。
②後継者育成の工夫	D	人材育成までは取り組んでいない。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	C	組合員の意識向上までには至っていない。
①基本理念の設定	B	目標を立て取り組んでいる。	b. 地域農業	C	先導的な組織にはなっていない。
②地域の歴史等の伝承	B	干拓の歴史となぜ排水機場が必要なのかについて理解されつつある。	c. 地域コミュニティー	B	今のところは小学校との関わりだけであるが、今後更なる努力が必要である。
③運動の先駆性	C	目標に沿って位置づけされているが工夫が必要である。	d. 地域資源管理	B	子ども達を通して学校内、家庭内で話題にしてもらい少しずつはあるが、保全強化につながっていると思う。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		安全面に留意し、継続的な取り組みができるよう努力していきたい。
①運動の継続性	B	学校側の協力を得て継続していきたい。			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他